

岐阜県議会議員

若井あつこ 県政だより

岐阜を
笑顔に。

第3号

2016年11月
発行

若井あつこ 事務所 〒500-8323 岐阜市鹿島町一丁目十番地 加藤第二ビル二階
TEL.058-252-1115 FAX.058-252-1151 wakai-jimusho@marble.ocn.ne.jp



平成28年度
第4回定例議会 一般質問

平成28年
10/7



平成28年第4回岐阜県議会定例議会において登壇させて頂きました。

質問1

子宮頸がん・乳がん検診促進の今までの取り組みと、検診率向上に向けた今後の取り組みについて

健康福祉部次長 答弁

住民に対するがん検診について、県としては岐阜県がん対策推進条例に基づき、市町村等と連携して受診率向上のための施策に取り組んでまいりました。その施策としては、がん検診の有効性や受診の利益についての普及啓発と、がん検診を受けやすい体制整備の大きく2つに分けて取り組んでいくところです。

特に、子宮頸がんと乳がんなどの女性のがん検診については、がん経験のある方々と協力して治療の経験も含めた検診の重要性の啓発や、保育園児や幼稚園児を通じてその保護者への検診のチラシの配布など、検診の普及啓発のほか、県農業フェスティバルなどにおいて検診を実施するなど検診機会の増加に取り組んできたところです。

顧客にがん検診の重要性を普及啓発いただくことや、検診を受けやすい体制の充実を図るため、休日にごがん検診を実施していただく市町村が増えるよう要請するなど、女性のがん対策を推進してまいります。

質問2

農業の労働力確保に向けた今後の取り組みについて

農政部長 答弁

農業分野での労働力の確保は、生産拡大において重要であると考えております。一方、求人倍率が高い本県では、他の産業にパート労働者が流れやすく、農作物の選別・出荷作業等への労働力確保が難しい状況にあります。

このため、例えば、飛騨地域の夏ほうれんそう産地では、収穫後の選別・出荷作業を少ない人数で効率的にできるよう、普及指導員が作業手順等の改善を指導しており、今後は、これらの事例を映像化し、他の生産者への普及を行ってまいります。

心の通った県政

岐阜県議会議員

若井あつこ

今年8月、熱狂に包まれた、スポーツと平和の祭典「リオデジャネイロ・オリンピック」は、その熱戦に幕を閉じました。

今大会には、過去最多となる19名の岐阜県ゆかりの選手が出場しました。その中でも、競泳女子200メートル平泳ぎに出場し、見事金メダルを獲得された「ぎふ瑞穂スポーツガーデン」所属の金藤理絵選手の大活躍は、県民だけでなく国民に大きな喜びと感動を与えてくれました。

広島県出身の金藤選手が岐阜県民になるきっかけとなったのは、2012年に開催された「ぎふ清流国体」でした。

この度の金藤選手の素晴らしい活躍は、本人の不断なる努力なくして成し得ることはできませんが、それだけでなく、競技に集中できる安定した環境を整えるという「ぎふ清流国体」を契機とした岐阜県の取り組みがありました。

そして、9月にご逝去された前岐阜県体育協会会長で岐阜県名誉県民の田口義嘉壽氏の多大なるご尽力が実を結んだものと拝察いたします。

ご生前に賜りましたご指導に心より感謝申し上げます。謹んで哀悼の意を

しており、今後は、新品種「華かがり」の共同選別・出荷にも取り組むこととしております。

質問3

2020年東京オリンピック・パラリンピックについて

清流の国推進部長 答弁

競技力向上の取り組みとして、ぎふ清流国体後も、優秀な選手を県内で雇用し、活動を支援する「岐阜方式」を継続するとともに、指導者として活動しながら、トップレベルで競技ができる環境を整えてまいりました。併せて、昨年度から新たに、日本代表レベルの選手をオリンピック・アスリート選手として指定し、きめ細やかな支援を行ってまいりました。このような取り組みが、リオ・オリンピックでの19名の県ゆかりの選手の輩出につながったものと考えております。

4年後の東京オリンピックに向けては、リオ・オリンピックの成果を踏まえ、これまでの競技力向上の取り組みを改めて検証し、優秀選手の発掘や確保、指定選手への効果的な支援のあり方等について、早急に検討していきたいと考えており

表します。

かつて私も、胸に「日の丸」の付いた空手道衣をまとい、日本代表選手として世界の頂点を目指していた時代がありました。

勝負は強くなければ勝てません。当時の私は「強くなりたい」その一心で、自分自身や周囲を顧みることもしず全力で走っていたように思います。

しかし、永遠に勝ち続けることは不可能です。それは、強さゆえのおごりや限界を知ることの挫折、迷いや誘惑、また年齢的な衰えもあるでしょう。

私は、過去に試合で「敗北」という挫折に負けてしまい、自分を見失い自暴自棄になったことがありました。

そんな私を救ってくれたのは、支えてくれた人々の温かさでした。自分ひとりの無力さを知り、人の真心に支えられているからこそ、今の自分があるということに気が付いたのです。

そして本当の強さとは、力で相手に打ち勝つことではなく「負けたくない心」であるということを知りました。

私にとって空手道という人生道場は、挫折や試練をどう乗り越えるのかなど「生き方」を学び稽古する場所であり、

また、本会議において県スポーツ科学センターの分館として設置を提案しており、また御嶽濁河高地トレーニングセンターの積極的活用を含め、科学サポートを二層充実させてまいります。

清流の国推進部長 答弁

県では、昨年度から他県に先駆けて、パラリンピックに向けた強化選手を指定し、活動経費や競技用具購入に対する支援、指導者や練習場所の確保など、様々な角度からきめ細やかな支援を実施してきております。指定選手16名がそれぞれ力を付けてきており、日本記録の更新、世界選手権での上位入賞、あるいは新たに日本代表選手に選ばれるなど、支援の効果が徐々に現れてきているところがございます。

昨年度からの取り組みということもあり、リオ・パラリンピックでの出場選手は1名に留まりましたが、東京・パラリンピックに向けては、指定選手に対する支援を一層充実させるとともに、指定選手の拡大についても検討してまいります。

さらに、パラリンピック競技の分野では、動作分析・フィジカルトレーニング等科学サポートが特に有効でございますので、岐阜県スポーツ科学センターの活用を拡充してまいります。



同時に苦しみや喜びを分かち合える人がいることの有難さと大切さを学んだ場所でした。

心の通った県政を実現するために、県議会議員となった今も同様に、日々の暮らしの中で皆様と想いを分かち合うこと、思いを共有することを大切に、誇りある岐阜の創生に向けて取り組んでまいります。

「一緒にやろまいか！
自慢のふるさと岐阜づくり!!」

今後も更なる県政発展のために精進いたしますので、変わらず若井あつこにご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

Pick up!

第44回 道三まつり
平成28年4月2日



「女神輿 岐阜心女」に飛び入り参加させていただきました

活動報告

ひだ美濃合併140周年記念式典・岐阜県民栄誉大賞除幕式

平成28年7月8日

本年は、明治9(1876)年に飛騨と美濃が合併し、140年という節目の年です。県ではこれを記念し、ひだ美濃合併140周年記念式典と岐阜県民栄誉大賞受賞者プレート除幕式が行われました。若井あつこのプレートも設置していただいています。



受賞者プレートのお披露目式が開催されました。

降雨被害を防ぐために作られた欧州型屋根型構造の林道。

農林委員会 県内視察〈中濃・飛騨方面〉

県営広域農道整備事業「郡上南部地区」▶長良川木材事業協同組合▶たかやま林業・建設業協同組合による森林整備事業▶清徳会宙くそら(内装木質化施設)▶竹原農地・水・環境保存会▶(株)マンナン工房ひだ▶魚苗センター

平成28年7月25日~26日

たかやま林業・建設業協同組合は、高山市・白川村の建設業18社と飛騨高山森林組合で構成され、作業道整備・森林整備・技術者の養成などを目的に平成22年に発足されました。従来型に加え、先進的な欧州型林業思想を取り入れた事業を行っています。



長良川木材事業共同組合の大型製材工場を視察。

株式会社マンナン工房ひだにて。



県営広域農道整備事業「郡上南部地区」の進捗状況及び低コスト造林事業を視察しました。



議員視察

主要地方道 多治見白川線(仮)伊岐津志トンネル建設現場▶平成記念公園 日本昭和村▶世界淡水魚園

平成28年8月8日

平成16年に環境学習の実践の場として、また、地域交流の拠点となることを目的として、県が整備した「世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ」は、淡水魚水族館としては、世界最大級です。

「木曾川・長良川の源流から河口までと世界の淡水魚」をテーマに展示されています。

長良川の源流から始めて世界の川へと広がり、魚類を中心に爬虫類や両生類、鳥類などの水辺の生き物たちの暮らす環境が緻密に再現されています。

主要地方道 多治見白川線の伊岐津志トンネル(仮)。



農林委員会 県内視察

JA全農岐阜 いちご新規就農者研究所▶岐阜県農業技術センター▶シャルキュトリーレストラン「里山きさら」▶JAにしみの トマト栽培用施設▶海津市立城南中学校(内装木質化施設)

平成28年8月26日

岐阜県のいちご産地は、高齢化・後継者不足により生産者の減少が顕著であり、担い手育成及び生産振興を図ることを目的として、平成20年にJA全農岐阜のいちご新規就農者研修所が設立されました。

ここでは、いちごの栽培・出荷に必要な技術や知識、経営管理に関する知識の習得を、毎年4月から翌年5月まで行っています。

岐阜県農業技術センターでは、県民の命と健康を守り、未来につながる農業・農村づくりを目指して、消費者のニーズに応えた「ぎふブランド農産物づくり」と、安全・安心な「ぎふクリーン農業」の確立を基本目標に定め、地域要望の強い課題研究開発と技術支援を積極的に支援するとともに、研究成果の効率的な普及に努められておられます。

岐阜県農業技術センターでは攻めの農業を展開するための試験研究に取り組んでいます。



海津市立城南中学校は、木の香りがして、温もりのある校舎。岐阜県産の木材がふんだんに使用されています。



議員視察〈南飛騨地域〉

鳥獣害対策「猪鹿鳥無猿柵」等 設置現場▶岐阜県立下呂温泉病院

平成28年9月12日

農産物に深刻な被害をもたらす鳥獣害対策の取り組みを視察するため、下呂市荻原町に伺いました。野生鳥獣による農作物への被害は、平成26年度で4億円を超えるとのこと。県では、岐阜県型総合獣害防止柵「猪鹿鳥無猿柵」を開発し、設置費用の補助を行うなど、各地域での普及を積極的に進めています。

南飛騨地域の救急医療の中核を担う、岐阜県立下呂温泉病院の山森積雄理事長と。



下呂の新ブランド南飛騨コーン!



全国レクリエーション大会in岐阜

平成28年9月23日~25日

この大会は「清流に 楽しさ 笑顔 夢いっぱい」をスローガンに、3日間開催されました。岐阜県初の開催であり、県内全42市町村を会場として全38種目が行われる、過去最大規模のレクリエーションの祭典で、参加総数は、なんと170,128名でした。



4/7 下呂市「あさぎスポーツ公園」体育館 視察

5/8 第21回 長良川 レガッタ大会

6/19 岐阜県ジュニアソフトボール協会「第2回 不破利兼杯 岐阜県ジュニアソフトボール大会」

6/19 京町ふれあいフェスタ

6/20 国道475号 東海環状自動車道 城田寺 安全祈願祭

6/23 [NPO法人 あゆみだした女性と子どもの会]による、デートDV講習会 岐阜女子大学にて

8/7 [第46回 東海男子ボディビル] [第32回 東海フィジーク] [第35回 岐阜県男子ボディビル]大会

9/19 京町地区 敬老会